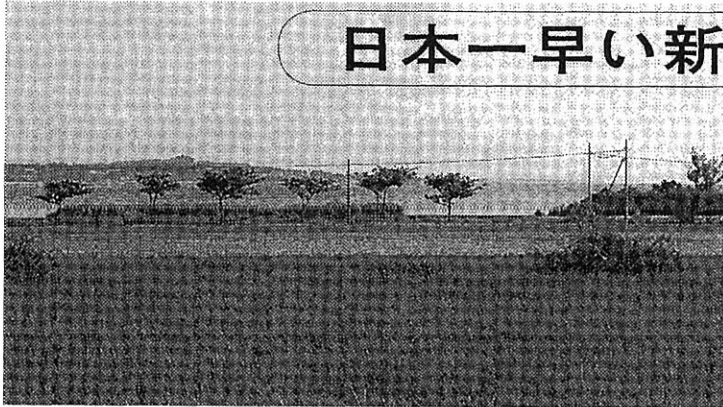


日本一早い新米



今年は最高の天候に恵まれた石垣島の田園

石垣島産ひとめぼれ 23日入荷

ハナノキがニーズ先取り

米穀精米卸のハナノキ(本社北名古屋市井瀬木井の元36、山内正道社長、電話0568・22・3711)は23日、全国で最も早く新米「22年産沖縄県石垣島産ひとめぼれ」を約10トンを入荷する。数日後には、デパートや量販店の店頭にも並べられ、インターネット上の楽天市場内「ハーベストシーズン」でも販売する計画だ。生産量が少なく希少価値が高い米を早く提供することで、顧客ニーズを取り込む考え。(北名古屋)

好天に恵まれ全量一等の格付け

しかし、首都圏の一部で沖縄県産の米が売られているだけで、内地ではほとんど知られていないのが現状。このため、同社は沖縄で最もおいしい新米を最も早く入荷しようとして、15年ほど前から、

九州産の新米が市場に出回る前に、入荷から7月上旬にかけて、集中的に販売攻勢に出る。

石垣島産の新米を毎年入荷してきた。

今年日照りが良かったことから、5月末時点での検査では、全量一等の格付けとなり、「昨年より米の品質が良い」と見ている。

同社は丸松坂屋百貨店、丸栄などデパートや量販店には白米として納入し、ハーベストシーズンの(<http://www.rakuten.ne.jp/gold/season/>)では無洗米として販売する計画だ。